

平成29年度の重点目標達成に向けたテーマ及び具体的な取組（学年・分掌版）

学 年・分 掌 名： 特別活動部

記入者氏名： 嶋田 仁

本年度の重点目標

人材育成と自己実現

すべての教育活動を通じて人材育成を図り、人格の完成と自己実現を支援する

***実践指針**

すべての教育活動において「追究姿勢の育成」を念頭に置き、これを通して、先行き不透明な時代に挑戦し、自己と社会の未来を切り拓く人材（21世紀人材）の育成を図り、人格の完成と進路目標の達成を含めた自己実現を支援する。

***具体的な手立て（該当番号に○印）**

- 1 多様な能力を活用する授業等を通して学力の向上を図る
- 2 各種追究活動を通して自己啓発の意欲と追究姿勢の強化を図る
- 3 深い生徒理解を基盤として自己実現を支援する
- 4 社会貢献活動等を通して地域や社会に信頼される人材の育成を図る
- ⑤ 部活動など特別活動の活性化を通して豊かな人間性を育む。
- 6 国際交流の活性化を通して情報活用力を含めた国際性の育成を図る

月	各学年・分掌のテーマ及び具体的な取組の作成及び実践 Plan～Do
4 6 月	<p>(テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会・HR 活動と学校行事への積極的・自発的な参加を通して、個性の伸長、豊かな人間性、自主的・協力的な態度の育成に努める。 <p>(具体的取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会委員会を年度当初、3年生が実質的に引退する2学期、年度を総括する3学期に開催し、活動方針・計画、反省、次年度への計画などについて話し合う機会を設け、自発的かつ改善を意識した運営を促し、より活性化を図る。
各学年・分掌の検証方法及び具体的な取組の検証（1） Check	
4 7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目指導主事等学校訪問での指導事項 ・管理職及び分掌主任会議による検証 ・第1回授業アンケートの結果 ・第1回学校評議員会での提言・指摘事項 <p>(検証結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動については、多くの部・同好会が活躍し、上位大会への出場を決め、力を発揮してくれた。 ・生徒会も自主的に活動しており、全校生徒を巻き込み、様々な学校行事を成功させた。また、酷暑時の服装についての生徒の要望を受け実現させるなど、例年にはない成果もあった。 ・昨年度から全校応援となった定期戦でも、昨年度は課題と指摘されたより大きな声での応援を実現させるなど、応援委員もよく頑張ってくれた。

